

よ かんが  
【読む×考える】

げいじゆつ まな  
24 芸術を学ぶ

かいとうれい かいとう  
解答例／解答のポイント

LEVEL 1

かいとう  
解答

b,d,f

LEVEL 2

かいとう  
解答

b

かいとう  
解答のポイント

- 文中で説明されている芸術家は「人はどんなものを美しいと思うのか」「アートを見る人の心や感情はどう動くのか」をシンプルに表現しているとあることから、ここでは描写的ではない作品を描く芸術家を選びます。

LEVEL 3

かいとうれい  
解答例

例①：A 賛成…アート作品は色々なものがあると思います。見る人の好みもみんな違いますから。

考えさせるアートを好む人は、見た目の美しさだけでなく、作者のメッセージを読み取る人が多いと思います。反対に、見た目の美しさを重視する人もいます。

私はどちらも高く評価されるべきだと思います。

例②：B 中立…私は、一見シンプルなアート作品が評価されてもいいと思いますが、絵の価値が評論やオークションの影響で上がったり下がったりしすぎるのはあまりよくないと思います。

絵の値段は描いた人が自分で決めるなどの基準があれば、芸術家と見る人にとって適切な価格や価値になると思います。

例③：C 反対…芸術の価値は「美しさ」だと思います。見てすぐに美しいと思うような作品の方が価値が高いと思います。時代の背景やオークションによって価値が上下する作品は、本質的な価値があるものではないと思います。

かいとう  
解答のポイント

- 文中に出てくる二つのタイプの作品「考えさせる作品」と「見た目が美しい作品」の価値について、どのように捉えるかを考えると立場をとりやすく、理由も書きやすいでしょう。
- どの立場を選んでもかまいませんが、自分の考えと理由をセットで書きましょう。

- 立場と主張に一貫性がある内容で書くことがポイントです。
- ただ「いい」「よくない」だけでなく、なぜそう思うのかまで掘り下げると、説得力のある意見になります。